

『英和对訳袖珍辞書』の邦訳に見られる古義

三好 彰

キーワード：英和对訳袖珍辞書 語義の意味変化 古義

要旨

幕末の文久2(1862)年に刊行された『英和对訳袖珍辞書』の邦訳に現在からみて不可解なものがあり、先行研究で誤訳とされてきたのがある。しかし言葉の意味は時間とともに変わることがあり、往時の言葉の意味(古義)では誤訳ではなく適訳と見なせるのがある。

1例を挙げると、Abolitionistの邦訳は「奴僕ヲ賣買スルヲ支ル人」であるが、これは先行研究で誤訳とされてきた。「支ル」は現在では通常「物が落ちないようにつばりなどで支える」という意味で使うからである。しかし室町時代に日本イエズス会が編纂した長崎版『日葡辞書』によれば「支ル」は「防ぎ止める」の意味にも使われていたのが分かる。この意味なら「奴僕ヲ賣買スルヲ支ル人」は誤訳ではなく適訳である。

このように現在では使われなくなっている古義が『英和对訳袖珍辞書』に見られることを示す。

1. はじめに

言葉は歴史的な変遷により変わることがある。幕末に刊行された『英和对訳袖珍辞書』(堀達之助編 1862)で誤訳と見なされてきた邦訳が、実は刊行から1世紀半経過した歴史的な言葉の変化によるものであって往時の言葉の意味では誤訳ではないことを示すのが本稿の目的である。

さて『英和对訳袖珍辞書』の見出し語はオランダで刊行された英蘭・蘭英辞書 Picard (1857)¹の英蘭部に拠っている(岩崎克己 1935: 51、杉本つとむ 1981: 695)。

英語圏での状況を知るために、必要に応じて Picard (1857) と同年に刊行された英語辞書 Webster (1857) を引用する。

2. 勝俣詮吉郎の指摘した誤訳

勝俣詮吉郎 (1914) は『英和对訳袖珍辞書』に関する論考の嚆矢とされるものである。その中で誤訳と見なした1つに下記がある。

¹ H. Picard 著 *A New Pocket Dictionary of the English and Dutch Languages, remodelled and corrected from the best authorities* は 1843 年に出版された。その改訂第二版は 1857 年に A. B. Maatjes 著で刊行された。この改訂第二版に H. Picard は関与していないが、内容を踏襲していることから H. Picard 辞書の系列である (Posthumus 2010)。

英語	To break a horse
邦訳	馬ヲ仕入レル
オランダ語訳	een paard dressereren

現在では「仕入る」は「販売や加工するために商品や材料を買い入れる」ないし「自分のものとしてあるものを手にいれる」という意味で使う(『明鏡国語辞典』2010)。『英和对訳袖珍辞書』が Factory を「仕入レ所」と訳しているのはこの意味である。

ところが、英語 To break a horse およびオランダ語訳 een paard dressereren はともに「馬を馴らす」という意味なので勝俣は誤訳と見なした。

さて現在の「仕入」の意味では通じない他の例が『英和对訳袖珍辞書』に次のように出ている。勝俣の指摘に沿えば、これらも誤訳になる。

Horse-breaker, s.	馬ヲ仕入レル人
Manage-ed-ing, v. a. et n.	支配スル、取捌ク、仕入レル、教へ込ム、厭フ、馴ラス、取扱フ

そこで日本語の古い時代での意味を知るために、1603年に日本イエズス会が刊行した長崎版『日葡辞書』の邦訳本である『邦訳 日葡辞書』(土井忠生、森田武、長南実編 1980)で「シイレ」を見ると次のようである。

Xijre, ruru, reta.	シイレ、ルル。レタ (為入れ、るる、れた) 鷹に狩をしつれたり飼い馴らす。
¶	また、比喩。Fitouo xi iruru. (人を為入るる) 人を教え導いて、良くしつける、など

「馬ヲ仕入レル」が「馬をしつける、飼い馴らす」なら英語 “To break a horse” の意味に合う。この意味での「仕入」は室町時代、江戸時代(幕末)には使われていたが、現在では使われなくなったわけである。

3. 杉本つとむ (1981) が指摘した誤訳

杉本つとむ (1981) は『英和对訳袖珍辞書』全文を影印で示すとともに、語彙を包括的にまとめて詳細な解説を添えた大書として広く知られている。杉本つとむ (1981) が誤訳とみなした中に言葉の歴史的な変遷によるものであって誤訳とは言えないものがある。

(a) Abolitionist の邦訳「^{スレーブ}奴僕ヲ賣買スルヲ支ル人」

杉本つとむ (1981:742) は「<abolitionist> は大誤訳で、<支エヌ人>の意で訳さねばならない。奴隷売買の反対者のことである」と書いている。

そこで先ず Webster (1857) で Abolitionist を見ると、次の通りである。

A person who favors abolition, or the immediate emancipation of slaves.

逐語訳すると「奴隷の即時解放に賛同する人」である。

Picard (1857) の Abolitionist のオランダ語訳は次の通りである。

voorstander van de afschaffing van den slavenhandel

『和蘭辞彙』の訳語で逐語訳すると、「奴隷の売買を止切ることを防ぎ守る人」の意となり分かりにくい。『オランダ語辞典』の訳語では「奴隷売買の廃止の支持者」である。

この Picard (1857) のオランダ語訳と Webster (1857) の定義は、ともに杉本の指摘「奴僕ヲ賣買スルヲ支エヌ人」と同義である。

そこで『邦訳 日葡辞書』（土井忠生他 1980）で見ると、次のようである。

Sasaye, uru, eta. ササエ、ユル、エタ（支・障へ、ゆる、へた）

さし止める、あるいは、阻止する。

「支ル」が「さし止める、阻止する」ならば、「^{スレーブ}奴僕ヲ賣買スルヲ支ル人」は「奴僕のを買を阻止する人」の意味になり、上記した Picard (1857)、Webster (1857) と同義であって誤訳でなくなる。つまり幕末では「支ル」に「さし止める、阻止する」の意味があった。

(b) Abolitionist の類例 26 件

『英和对訳袖珍辞書』の邦訳に「支ル」が出ているケースが Abolitionist を含めて 40 件ある。その中で Abolitionist のように邦訳に古い時代の「支ル」の意味「さし止める、あるいは、阻止する」を邦訳に持つ見出し語を調べると 26 件ある。Abolitionist を含めた 27 種を表 1 に示す。これらを杉本つとむ (1981) が見れば誤訳と見なしたことだろう。

表 1. 古い時代の「支ル」の意味を邦訳に持つ語の一覧

Abolitionist, s.	奴僕（スレーブ）ヲ賣買スルヲ支ル人
Bar-red-ring, v. a.	閉出ス、柵ヲ結ブ、支ヘル、防グ
Breaker, s.	打破ル人、岩礁 波ヲ支ヘル、破浪 流レ来ル氷ヲ割ル為ニ川中ニ置キタル物

Check-ed-ing, <i>v. a. et n.</i>	無理押シスル、岨メル、押シ付ケル、非難スル、支ル、星紋付ケル、比較シテ見ル、止マル
Clog, <i>s.</i>	獣ノ走ルヲ支ル木具、木履、塊
Dam-med-ming, <i>v. a.</i>	堤ヲ築ク、支ヘル、止メル、塞グ、充ル
Delay-ed-ing, <i>v. a.</i>	猶豫スル、延ハス、支ル
To hold up	止メル、支ヘル
Interrupt-ed-ing, <i>v. a.</i>	妨ゲル、支ヘル、破ル、理ニ落ス
Interruption, <i>s.</i>	破壊、支へ、障防、速カニ理ニ服スルヲ
Intersection, <i>s.</i>	切り通スヲ、切ルヲ、支ヘルヲ
Obstruct-ed-ing, <i>v. a.</i>	支ヘル、妨ゲル、拒ク
Restrainer, <i>s.</i>	支ヘル人
Restraint, <i>s.</i>	支ヘルヲ、無理押スヲ、障碍
Restrict-ed-ing, <i>v. a.</i>	支ヘル、押シ付ル
Restriction, <i>s.</i>	支ヘルヲ、限り
Restrictive, <i>adj.</i>	支ヘル、限ル
Retention, <i>s.</i>	保ツヲ、支ヘルヲ、暗誦スルヲ
Retentive, <i>adj.</i>	保ツ、支ヘル、記憶ノヨキ
Stanch-ed-ing, <i>v. a. et n.</i>	岨メル、支ヘル、止ル
Stay, staid, staying, <i>v. a. et a.</i>	宿ル、住ム、守ル、止マル、止メル、支ヘル、倚頼スル
Stem-med-ming, <i>v. a.</i>	支ヘル、止メル
To put a stop to	支ヘル、止メル
Stop-ped-ping, <i>v. a.</i>	支ヘル、駐メル、妨ゲル、栓ヲスル
Undefended, <i>adj.</i>	支ヘテナイ
Wind-bound, <i>adj.</i>	逆風ニ支ハラレタル
Withhold-held-holden-holding, <i>v. a.</i>	戻サス、支ヘル、取り戻ス

注 : *s.* = Substantive 実名詞 *adj.* = Adjective 形容詞

v. a. = active verb 他動詞 *v. n.* = neuter verb 自動詞

そして表 1 に示した 27 件を除いた 40 件中の残りの 13 件は現代の意味の「支る」と同義として使われている。それらを表 2 に示す。

表 2. 現在の「支ル」の同じ意味を邦訳に持つ語の一覧

Bolster-ed-ing, <i>v. a. et n.</i>	枕スル、巻木綿ニテ巻ク、支ヘル、備フ、充分ニスル
Counter-lash, <i>s.</i>	支へ棒
Crutch-ed-ing, <i>v. a.</i>	鐘木杖ヲ以テ支ヘル

Help, helped, helping, <i>v. a. et n.</i>	助ケル、支ヘル、用立ツ、妨ゲル、避ケル
To keep up	支ヘル
Second-ed-ing, <i>v. a.</i>	援ケル、支ヘル
To stand up for	支ヘル、守護スル
Support-ed-ing, <i>v. a.</i>	全上スル、支ヘル、養フ、防ク、堪忍スル、受ル
Supportable, <i>adj.</i>	堪忍スベキ、支ユベキ
Supportance, <i>s.</i>	食物、養ヒ、扶助、支ヘ
To tie up	シツカリト結付ル、結ビ上ル、支ヘル
Uphold-held-holden-holding, <i>v. a.</i>	支ヘル、止ムル、保護スル
Shoulder-ed-ing, <i>v. a.</i>	肩ニ取ルヌハ置ク、支ヘル

現代人には表 1 と表 2 に分類した方が分かり良いが、幕末の人々は区別しなくても混乱せず理解できていたと受け取れる。

4. 『英和对訳袖珍辞書』における現在では使われなくなっている古語

勝俣詮吉郎 (1914) と杉本つとむ (1981) が提起した問題から、日本語の意味が時代とともに変化しており、そのために現代人から見ると『英和对訳袖珍辞書』に不可解な邦訳があることが見えてきた。

上述したことであきらかにしたように『英和对訳袖珍辞書』には、「仕入ル」や「支ル」のように室町時代・江戸時代での意味が現在では使われなくなっている言葉がある。また現代では使われなくなった古語がある。それらを管見の範囲で示す。

1 例として「箕ニテヒル」を取り上げる。『英和对訳袖珍辞書』では下記の 6 つの見出し語の邦訳に出ている。

Fan-ned-ning, <i>v. a.</i>	箕ニテヒル、扇ク、気ヲ引立ル
Fanner, <i>s.</i>	箕ニテヒル人、箕
Van-ned-ning, <i>v. a.</i>	箕ニテヒル
Ventilate-ed-ing, <i>v. a.</i>	箕ニテヒル
Ventilation, <i>s.</i>	箕ニテヒルヲ
Winnow-ed-ing, <i>v. a.</i>	箕ニテヒル

現代人は「箕ニテヒル」とは言わないが、『邦訳 日葡辞書』の見出し語 Mi (箕) に下記の用例が出ている。

Mi ミ (箕) Comeueo firu dōgu. (米を簸る道具) 米を簸 (ひ) て塵あくたを払い取るのに使う。箕の一種

往時は箕を使ってゴミなどを払っていたのだった。

このように室町時代、江戸時代には使われていた言葉で現在では使われなくなっているものを管見の範囲で『日葡辞書』での意味と『英和对訳袖珍辞書』の用例を表3に示す。

ハシカ、ムサムサシテ、投火矢、スギワイ、セイロ、塩ハユキ

なお、ここでは『明鏡国語辞典』(2010) に採録されていないか、採録されていて「古語」とされている語を「現在では使われていない言葉」とみなした。

表3. 『英和对訳袖珍辞書』で使われていて現在では使われなくなっている言葉の例

日葡辞書	英和对訳袖珍辞書	
Faxica ハシカ マタハ nogui (芒) 麦や稲ののぎ	Awn, s.	ハシカ 麦ナドノ穂ノ
Musamusato ムサムサト (むさむさと) 副詞; 物事をいい加減にするさま、または、興味を持たず、熱心さもなく物事をするさま	Slovenliness, s.	ムサムサシテ居ルヲ
Naguebiya ナゲビヤ (投火箭) 火薬の鍋 ²	Cracker, s.	遊ヒニ用ユル投火矢 (ナゲヒヤ)、太平楽云フ人
Suguiuai スギワイ (すぎわい) 稼ぐやり方、すなわち生活をするやり方	Sedentariness, s.	安閑ノ生計 (スギワイ)
Xeiro セイロ (世路) Yono michi (世の路) 現世のこと、または、繁榮して安穩なこと	Unfair, adj.	正路 (セイロ) ナラヌ、許サレヌ、正直ナラヌ、見苦シキ、貴カラヌ
Xiuofayui シヲハユイ (塩からい)	Saltish, adj.	塩ハユキ

注: 投火矢 (ナゲヒヤ)、生計 (スギワイ)、正路 (セイロ) の訓みは、漢字にルビを振っている『英和对訳袖珍辞書』の第3版にあたる高橋新吉他編『改正増補 和訳英辞書』(1869)に拠った。

5. まとめ

勝俣詮吉郎と杉本つとむは幕末の文久2 (西暦 1862) 年に刊行された堀達之助編『英和对訳袖珍辞書』の偉大な研究者であるが、どちらも『英和对訳袖珍辞書』邦訳に誤訳があると指摘している。しかし両氏の指摘した邦訳例は古い時代の日本語の意味 (古義) では適訳であるこ

² 「火薬の鍋」に『邦訳 日葡辞書』(土井忠生他(1980)) は下記の注を付している。

原文は *Panella depoluora* 古く発射火器と同じように戦争に使われた特殊な容器で、中に炸薬 (さくやく) を一杯詰めたもの。

とを明かにした。

『英和对訳袖珍辞書』には現代では使われていない古義がまだまだあるかもしれない。言葉の意味の歴史的な変化を考察するうえで、『英和对訳袖珍辞書』は格好の研究材料と言えよう。さらなる考察を生むきっかけになれば幸いである。

参考文献

土井忠生, 森田武, 長南実編訳 (1980) 『邦訳 日葡辞書』、東京：岩波書店

注：『邦訳 日葡辞書』は1603年に日本イエズス会が刊行した長崎版『日葡辞書』の邦訳版である。

堀達之助編 (1862) 『英和对訳袖珍辞書』江戸：洋書調所

岩崎克己 (1935) 『柴田昌吉伝』東京：岩崎克己

勝俣詮吉郎 (1914) 「最初の英和対訳字書（其二）」『英語青年』(Vol. XXXII, No.2)、p. 56

北原保雄編 (2010) 『明鏡国語辞典』第2版、東京：大修館書店

Picard, H. (1857), *A new pocket dictionary of the English and Dutch Languages*, 2d ed., rev. and augm. by A.B. Maatjes, Joh. Noman: Amsterdam

Posthumus, Jan (2010), H. Picard (1810-1858) en zijn Pocket Dictionary, *Trefwoord, tijdschrift voor lexicografie*. Fryske Academy

小学館ランダムハウス英和大辞典第二版編集委員会編 (1994) 『小学館ランダムハウス英和大辞典』東京：小学館

杉本つとむ (1981) 『江戸時代 翻訳日本語辞典』東京：早稲田大学出版部

Webster, Noah; Goodrich, Chauncey A. (1857), *An American dictionary of the English language*, Springfield, Mass; G. and C. Merriam.

Semantic Change in the *Eiwa Taiyaku Shuchin Jisho* (1862), the First Commercial English-Japanese Dictionary

Akira MIYOSHI

Keywords: The Commercial English-Japanese dictionary in the Edo Period in Japan,
Semantic Change of Words

Abstract

Some articles say that there are several incorrect Japanese definitions in the “*Eiwa Taiyaku Shuchin Jisho*” or the first commercial English-Japanese dictionary published in 1862.

However, the meaning of words may change with the time, and it turns out that those definitions are correct in their original sense; e.g., “*sasaeru*” stands for “to support” in current Japanese, but it meant “to protect against” in the “*Nippo-jisho*” or the Japanese-Portuguese dictionary published by the Society of Jesus in 1603.

For example, some translated Japanese definitions with “*sasaeru*” are considered to be incorrect in current Japanese, but they are correct in the original sense of the word.

This paper is the first trial to consider the Japanese definition in the “*Eiwa Taiyaku Shuchin Jisho*” in the original sense of the word.

(みよし・あきら)